

美利河ダムの防災操作効果について

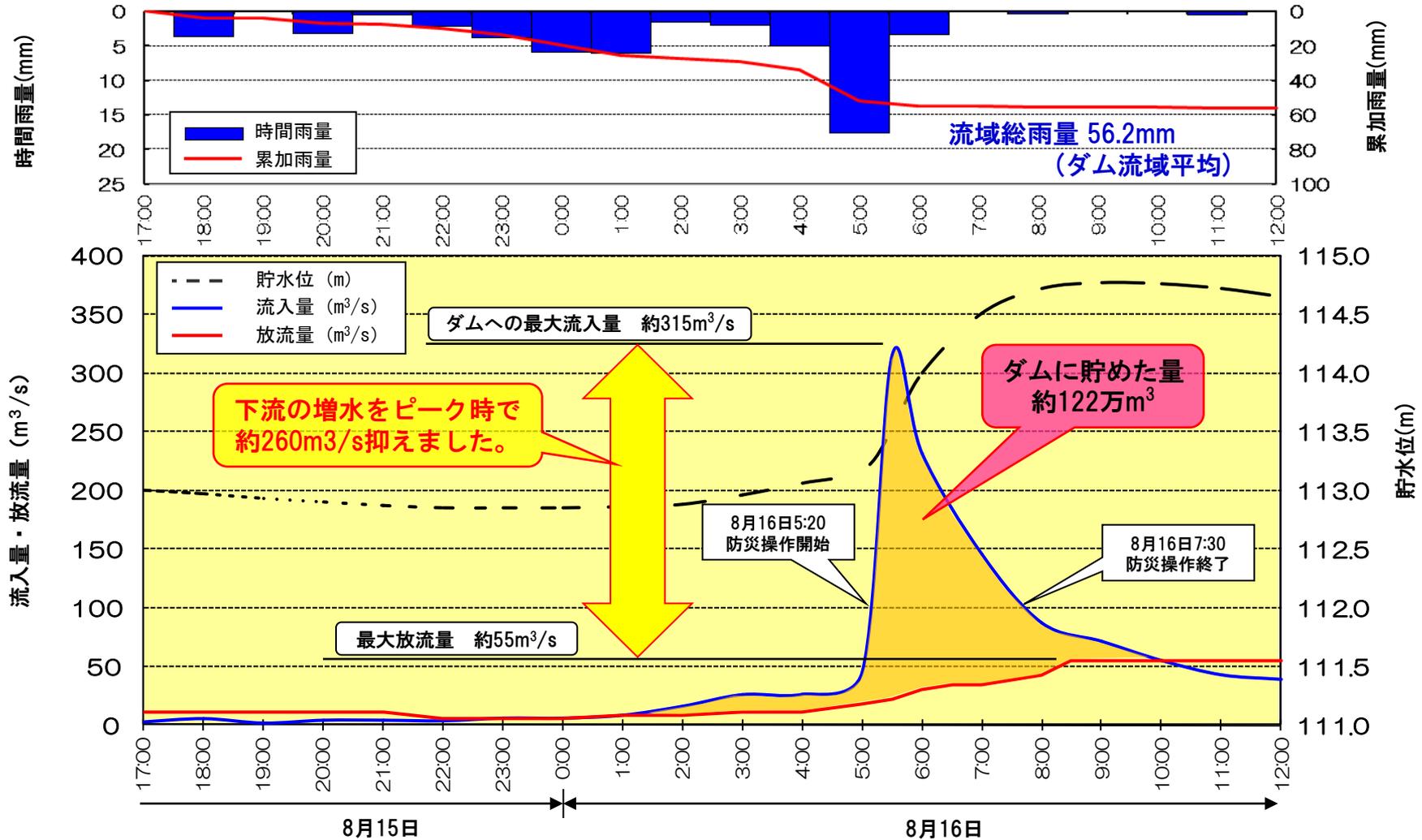
平成24年8月15日より降り始めた雨により、**美利河ダムでは河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、今金町市街部今金橋（今金水位観測所）付近の水位を**約1.8m程度低減**させたと想定されます。



美利河ダムの防災操作状況

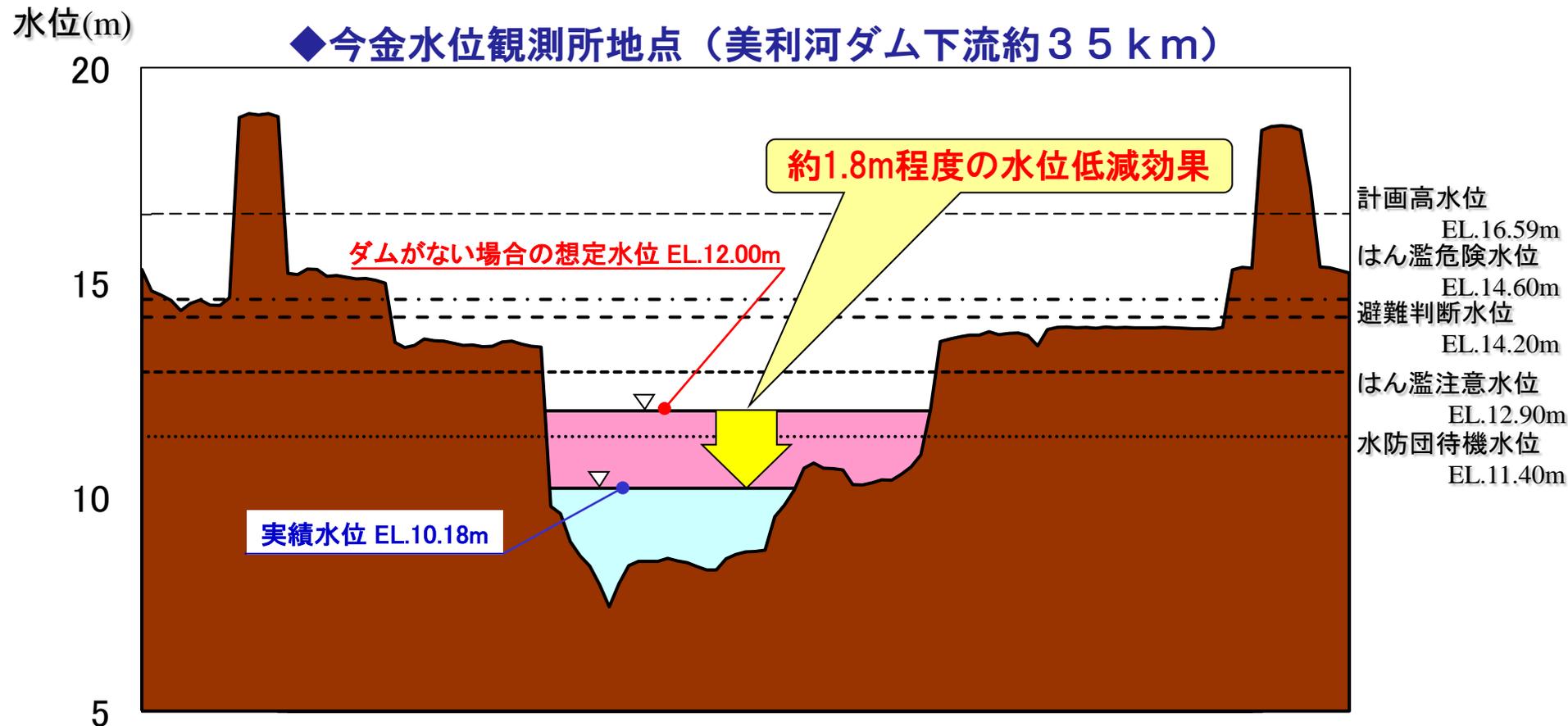
今回の出水において美利河ダムでは、最大で毎秒約315m³の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒約55m³に抑えることで約122万m³（札幌ドーム約0.8個分）の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※記載している観測データ等は速報値(暫定値)です。

美利河ダムによる水位低下効果（今金水位観測所地点）

美利河ダムの防災操作により、後志利別川の今金町市街部今金橋（今金水位観測所）付近の水位を概ね1.8m程度低減させたと想定され、水防団待機水位以下に抑えることができました。



※記載している観測データ等は速報値（暫定値）です。